

各交通心理士資格に期待される役割について

2020.06.06.
日本交通心理学会
日本交通心理士会
(作成：将来ビジョン WG)

各交通心理士資格の取得および昇格を目指す方のために、有することが望ましい資格取得者の能力や、安全教育領域を例とした期待される職務の内容を、参考までにまとめました。

各交通心理士資格の取得や昇格の際のご参考としてください。

【 交通心理士補 】

交通心理士補について	
有することが望ましい能力 ※ 下記に記されている内容を全て有する必要はない。	期待される職務内容例（安全教育領域） ※ 当該職務内容について、本資格を必ず所有することを条件とするものではない。
<ul style="list-style-type: none">○ 交通心理学を“学ぶ”能力を有する者。・ 交通心理士補試験で対象となる交通心理学の知識を有し、交通心理士になるための準備ができていること・ 継続して知識と能力を向上させ、それを活用しようとする意欲を持っていること・ 一般的な交通参加者（運転者や歩行者）の心理を科学的に理解していること・ 個人の体験談などを通して、各種の事例について地区別研究会などで発表や議論ができること	<ul style="list-style-type: none">・ 自動車教習所学科・技能講習担当・ 道路交通安全業務担当

【 交通心理士 】

交通心理士について	
有することが望ましい能力 ※ 下記に記されている内容を全て有する必要はない。	期待される職務内容例（安全教育領域） ※ 当該職務内容について、本資格を必ず所有することを条件とするものではない。
<p>○ 交通心理学を“使う”能力を有する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な交通心理学の理論・論拠をもとに、科学的に交通安全に関する活動ができること ・ 基本的な統計資料を理解でき、論文を読むことができること ・ 基本的な統計資料または事例などに基づく論文を作成し、日本交通心理学会および日本交通心理士会で継続的に発表しようとする意欲や、プレゼンテーション能力を有すること ・ 特定の属性（例えば、高齢者や子ども）および特性（例えば、危険敢行傾向）を有する交通参加者の心理を理解していること ・ 交通コーチングおよび交通カウンセリングの基本的な考え方および技法を理解していること ・ 座学などにより集団の教育ができること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省第一種カウンセラー業務 ・ 高齢者講習担当 ・ 事故反復者などの再教育担当 ・ 集団を対象にする企業講習 ・ 一般運転者の管理的立場にある安全運転管理者講習や運行管理者教育 ・ 交通安全教育カリキュラム作成担当 ・ 自治体の交通政策担当

【 主任交通心理士 】

主任交通心理士について	
<p>有することが望ましい能力</p> <p>※ 下記に記されている内容を全て有する必要はない。</p>	<p>期待される職務内容例（安全教育領域）</p> <p>※ 当該職務内容について、本資格を必ず所有することを条件とするものではない。</p>
<p>○ 交通心理士以下を“育てる”能力を有する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通心理士補および交通心理士を教育や指導できること ・交通心理学の学術的な研究を独力で行える能力を有すること ・諸外国の研究論文を読解できること ・専門的な統計や事例の分析能力を有し、事故の原因と対策を客観的に理解し、資源（人員や資金）を考慮して、各種団体に交通安全活動を提案できること ・日本交通心理学会および日本交通心理士会などにおいて、学術的観点から講演などを行う能力を有すること ・交通心理学の各種の考え方や技法を理解し活用できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省第二種カウンセラー業務 ・交通心理学関係の企業・団体の経営の補佐（例えば、部長や次長など） ・交通心理学関係の専門的会合の講演

【 主幹総合交通心理士 】

主幹総合交通心理士について	
有することが望ましい能力 ※ 下記に記されている内容を全て有する必要はない。	期待される職務内容例（安全教育領域） ※ 当該職務内容について、本資格を必ず所有することを条件とするものではない。
<p>○ 日本交通心理学会および日本交通心理士会などを“運営”する能力を有する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体から資源（人員/ポストや資金）を確保できる能力を有すること ・ 交通安全教育の企画や運営、マネジメントを行えること ・ 日本交通心理学会および日本交通心理士会において、一定の貢献（例えば、年次大会委員長、準備委員長、部会や委員会の長など）を行った実績のあること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通心理学関係の企業・団体の経営（例えば、経営者や理事など） ・ 交通心理学関連の研究プロジェクトや活動のマネジメント

なお、上記の「有することが望ましい能力」および「期待される職務内容例」については、日本交通心理学会や日本交通心理士会の状況や会員からの要望などに応じて、随時改訂する。